

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3470204763		
法人名	株式会社 ハーモニー		
事業所名	グループホームハーモニー広島西		
所在地 (電話番号)	広島市佐伯区八幡東4丁目26-11 (電話) 082-926-4688		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島		
所在地	広島市東区福田1丁目167番地		
訪問調査日	平成21年8月25日	評価確定日	平成21年9月11日

【情報提供票より】平成21年8月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 14人, 非常勤 3 人, 常勤換算	15.5

(2) 建物概要

建物形態	(併設) 単独	(新築) 改造
建物構造	重鉄骨 造り 2階 階建ての 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,500 円	その他の経費(月額)	水光熱費 39,300 円
敷金	有() 150,000 円	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月 15日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.8 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	広島グリーンヒル病院、山村整形外科、さくらい歯科クリニック、あおぞら診療所、ほほえみ診療所
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高齢者医療と介護に取り組む「ほほえみグループ」のグループホームである。通常の医療支援のほかに認知症専門医の診療が2週間毎に実施されているのが特徴である。隣接施設に法人グループのデイサービス・居宅介護支援・住宅型有料老人ホームを備えており、利便性も高い。また自然が豊かで静かな環境と、小学校が隣にあって若い活気も感じられるといった好環境に立地している。
職員は「いつも ほほえみ」を共有理念とし、利用者に耳を傾けることを大切にし、やさしく笑顔でゆっくりとした行動を心がけて、利用者と共に喜怒哀楽を共にするケアに取り組んでいる。認知症専門医の診療のほか音楽療法も取り入れるなど認知症に対して意欲的に取り組んでいるグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善点は ①重度化に向けた方針の共有②災害対策の2点であった。2点ともよく進展させていたが さらに改善を進めるべきと認識して検討中であった。さらに進展させることを期待したい。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員から意見を求めて評価を取りまとめている。前回の評価も出来るところから 職員で話し合っ改善しており、今回も話し合いながら自己評価に取り組み、サービスの向上に役立っている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヶ月毎に開催され、事業所からの状況説明や行事報告、評価報告などが行われている。また意見や要望の引き出しを行ない、職員で話し合っ改善に繋げている。 運営推進会議への参加者を増やすために、運営推進会議と家族会を抱き合わせで開催して工夫しているが会議への参加者は十分とは言えない。参加をお願いするメンバーを工夫して問題点の改善につながるような発展的な討議となるよう期待したい。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) ご意見箱の設置、事業所窓口や第三者機関への連絡方法を明記し、また普段の面会時や2ヶ月毎の家族会でも話し合う機会を設けて、意見・苦情等の受け入れ体制は整っている。家族へのアンケート調査結果も受け入れている。入ってきた意見・苦情等は 職員で話し合っ対応を決めて実施している。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 敷地内の畑を園児に開放し、苗植え・草取り・収穫を一緒に楽しんだり、職員が公民館で出張ボランティアが可能な団体や人を探したり協力をいただいたり、小学校の社会見学・中学校の職場体験を受け入れるなど、地域交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループの理念「いつも ほほえみを」を掲げている。また、ABユニットそれぞれ独自に職員が話し合っ て決めた方針や注意点がある。それらを掲示して意識を共有している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループの理念、ユニットの方針などを入口やリビングの目立つ所に掲示しており、職員に理念は浸透している。毎月のミーティングや日々の介護での疑問点なども、理念に基づいた話し合いやアドバイスがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敷地内の畑を園児に開放し、苗植え・草取り・収穫を一緒に楽しんだり、職員が公民館で出張ボランティアが可能な団体や人を探したり協力をいただいたり、小学校の社会見学・中学校の職場体験を受け入れるなど、地域交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者始め職員は評価の意義を理解して、職員全員参加で自己評価を作成している。自己評価・外部評価を活かして、可能なことから改善を進めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎に利用者代表・家族代表・地域包括センター・民生委員など集まって開かれている。運営推進会議の前に家族会を開いて、運営推進会議への家族等の参加を促している。運営推進会議では日々の様子や行事を写真で紹介し、わかりやすい報告を行っている。		地元関係者の会議への参加を増やす試みも期待したい。

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の報告、許可申請、相談事項などで交流の機会を持つように努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、金銭報告と同時に利用者の写った写真と職員の手書きの手紙を添えて、近況報告を行っている。家族の訪問があった場合や必要時には電話でも報告や要望を聞くなど行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置、事業所の苦情窓口・第三者機関への連絡先の明記、面会時の話し合いなどを通じて、苦情や意見を受け付けている。また2ヶ月毎に家族会を設けて話し合う機会を持っている。受け付けた情報は職員で話し合っって認識を改め、運営の改善を行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職は最小限に抑えるように努力している。それでも異動・離職となった場合は、新しい職員に利用者馴染みの職員が半月ほど付き添って介護するなど、利用者へのダメージを防ぐ努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人グループにて新人を計画的に研修させる体制が整っている。以後の育成は内外の研修を必要に応じて勤務調整をしながら受けさせている。毎月2時間程度行っている実務ミーティングは若手職員の知識習得に役立っている。		長期的な視点で職員の育成計画を立てていくことも期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームの合同研修会や講習会、ケアマネ研修会へ参加して交流を図っている。また、法人グループ内のグループホームとの交流によっても、互いに参考情報を得るなどサービスを向上させる努力を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族を伴って利用者に来ていただいて職員と過ごしてみたり、体験入居をしていただいたり、入院先を訪問して面会したりすることで徐々に馴染めるよう工夫している。また、関係者の話を参考にして利用者への配慮を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者とともに食事をし、希望の利用者とともに家事をし、利用者と会話をし、事業所で生活を共にする関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の介護・会話や共に過ごすことで 思いや意向をくみ取る努力や工夫を行っている。気付いたことは日報や申し送りで職員間で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居後1週間から10日以内程度生活を共にし、状態を把握してから関係者と話し合っ介護計画を作成している。当初は1ヶ月～3ヶ月程度の短期で見直しをかけている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に見直しを行っている。課題に対する進捗状況などを職員で話し合っ記録を行い、見直しに反映させている。必要な場合は 現状に即して対応し、介護計画の見直しも行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日常の介護活動以外の受診送迎や私用なども、利用者の希望や状況に応じて柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の要望に応じてかかりつけ医の受診支援と医療機関との関係づくりを行っている。受診支援で利用者に職員が付き添う場合は医師と直接情報交換して健康管理に役立てている。事業所の提携医による定期診療もあって、毎週内科医の診察、隔週で認知症専門医の診察がある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	最近では利用者の入居時に、重度化した場合の方針を話し合っている。また 状況に応じて前もって話し合うようにしている。 話し合いの内容は書類にはしていない。また、以前からの利用者に対しては話し合いを行っていない。	○	方針の共有がまだの利用者との話し合いや書類による情報共有などの検討と進展を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーに配慮しながら言葉がけや対応を行っている。特に言葉がけは職員で話し合っ良い言葉がけと悪い言葉がけを反省し、職員の目につくところに掲示して意識している。また個人情報にはカギのかかる場所に保管・管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースや意向をくみ取りながら、希望を聞いたり・話し合いもしながら、利用者本位で配慮しながら支援に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者(可能な希望者)と職員と一緒に食事の準備をし、一緒に楽しく食卓を囲みながら同時に食事介助もし、片付けも協力し合っている。お互いを気遣う会話や笑顔も多く見られる。メニューは職員が持ち回りで決め、栄養士がチェックしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1人で入れる利用者については 出来るだけ希望に合わせて入浴していただいている。介助が必要な利用者には話し合っ職員に余裕のある時に合わせていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・買い物・洗濯物干し・たたみ・ゴミ捨て・体操・カラオケなど 利用者の希望や能力に応じて個々に支援している。利用者に合わせて誕生日会を開いて楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い時、利用者の体調や希望に合わせて散歩に出ることを支援している。食事の材料の買い出しと一緒に出かけるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	カギをかけないケアを実践している。出入り口の開閉時には優しい鈴の音になるといった優しい警報音の工夫がなされている。また万一の場合に備えて監視カメラでモニターも行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	12月、6月と消防署の協力の下、避難訓練・消火訓練を行った。次は12月に行う予定。訓練を通じて、利用者の避難はなかなかスムーズには運ばない事などの問題点を認識している。	○	夜勤の時間帯を想定した訓練、近隣との協力関係の構築や共同での訓練など行って、避難方法を身につけて行くことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養バランスを配慮して、手作りされている。一人ひとりの状態に合わせて、きざんだり、トロミをつけたり、量を変えるなどの工夫をしている。食事量、水分量も把握され記録されている。水分摂取量の少ない人には、回数を増やして飲んでもらうなど対処している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビング、畳のコーナーなどの共用部は程よい広さがあって、のびのびと過ごせる空間となっている。季節感のある飾りや花、利用者の手作りの作品などが飾られ、家庭的な雰囲気になっている。温度、音響、照明にも配慮され心地良く過ごすことができる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりの使い慣れた生活用品や思い出の品物などを持ち込み思い思いに飾り付をしてその人らしく過ごせる居室となっている。身体状況に合わせてベッドを低くしたり、物を置かないようにしたり、利用者の状態に応じた工夫や配慮もしている。		

NPOインタッチサービス広島

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

I 理念の基づく運営

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	ご本人が出来ることを活かして、できるだけご本人の出来ることをしていただき生活していただくよう心がけています		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ミーティングの時間を設け話し合っています。コミュニケーションをとり協力しあうように心がけています。	○	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	2ヶ月に1回懇親会を行い、家族と交流したり、会議にも出席していただいています。新聞などで施設の状況をお知らせしています。		

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	散歩や買い物に出かけたときに近所の方や小学校の先生や小学生に会うと挨拶を交わすようにしています		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	お祭り、小学校での行事などに見学・参加しています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	近所の高齢者の方が訪問できる場所になればいいのという意見は出るが、職員数・業務により難しい状態です		
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員の意見を取り入れたり、外部評価の意見を活かせるように努めています	○	評価の良いところは持続し、低いところは改善するように心がける
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的な話し合いを行い、職員全体への周知と改善点の検討、方法を話し合っています		
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくるよう努めています		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	資料の回覧などを行っています		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	言葉かけ態度に注意する 施設内研修を行い注意を払い、防止に努めています		虐待についての認識を再確認し、虐待にならないよう注意していく
4 理念を実践するための体制				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約を結んだり解約する際は、利用者や家族の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図るように心がけています		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	利用者が意見、不満、苦情を言えるように話す機会を持つように心がけています		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	日常で変化のあったときに電話をしたり、毎月の写真と手紙などで近況の報告を行っています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議案内送付時に意見を聞くようにしたり、会議で意見を聞くようにしています		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的なミーティングなどにより出た職員の意見を会議で報告しています。 購入が必要なものや早急に対応が必要な件については個別に報告し対応しています		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	通院や外出支援、行事のときなどに必要な職員数を確保できるよう努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動や離職は必要最小限に抑えるよう努力しています。利用者へのダメージを防ぐためには、新しい職員については必ず半月ほど現職員を同行するようにしています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	------------------------	---------------------------------

5 人材の育成と支援

19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	計画的にマニュアルを使った指導、および外部研修に交代でできるだけ参加するようにしています	○	段階に応じての育成プログラムは、現在本部のほうで作成中です
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	佐伯区内のグループホームの合同研修会やグループワークのある研修会へ参加することにより他の事業所と交流する機会を作れるようにしています		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の希望する休みが取れるように工夫したり休憩場所の確保を行っています		

22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	勤務状況・実績を考慮し、研修へ参加できるように努めています		
----	--	-------------------------------	--	--

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	日々の生活の中で聴く努力をしています。利用者の不安はなるべく受け入れ、できることを取り組むように心がけています。	○	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面会時になるべく日頃のことなどを話し相談しあうようにしています。	○	もう少し家族からの話を聞いて希望を取り入れたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組ん でいることも含 む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人・家族がどのような状況にあるかについては話しを伺い、面接をし、病院・他施設の検討を含めて話しをしています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	優しく声をかけたりご本人の話を傾聴するようにしています 家族の面会がある時に話しをするようにしています		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人のお話を傾聴し、想いをしっかり受け止めるように心がけています 食事のときなどに昔の話をしたり家族の話をしています		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	2ヶ月に一回の家族会 ご家族の想いをよくお聞きし話し合うように心がけています		行事や面会にこられないご家族に来ていただけるようにしたい
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	家族が面会にこられたときなど、話しをするように心がけています 面会に来られないご家族にも手紙や電話で近況を報告するようにしています	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族知人の訪問時に楽しく過ごしていただけるよう話しに加わったり、外出を勧めたりしている		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	風船バレーや散歩・カラオケなどで横のつながりを築く。 食事のときや普段から利用者同士の係わり合いを見守り支援するように心がけている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	出会ったときの挨拶や声かけをしています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いなど、話しを傾聴し受け止めるよう心がけています	○	ご本人の趣味などを取り入れ楽しみを感じてほしい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人が穏やかに暮らせるよう支援することや、ご本人が出来ることはしていただき出来ないところを支援するように心がけています	○	生活習慣やなじみの暮らしがもっと把握できると良い
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者のニーズにあった支援が出来るように現状を把握するように心がけています 一日の生活に流れがあるようにし本人の出来ることをしていただきながらすごしていただいています		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護支援計画書を作成して対応しています 職員同士で意見を出し合っています 利用者に変わりがある場合は家族への連絡を行います		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組ん でいることも含 む)
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	ミーティングの時間を設け計画書を元に対応しています 状態の変化に応じて対応も変えていきます		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	行動記録を毎日記入し、情報を共有しています。 連絡ノート・申し送りにより状態をわかり合えています		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	併設のサービスに立ち寄ったり、デイの車を利用して買い物・ドライブにでかけています		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察・消防の立ち寄り、家族会でのボランティアさんとの交流、小学校の見学・中学校の職場体験の受け入れなどで協力しながら行っています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	必要に応じて他のケアマネや他の事業所の人と話をしています		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて相談しています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	入居者の家族がかかりつけ医にどのような医療で対応してほしいかを話しています 本人の病状に応じた治療を受けられるように情報交換をしています		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症に詳しい医師の往診を受けています		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診診療所の看護師・併設のデ・サービスの看護師に相談・助言を受けています		往診してもらっている診療所の看護師と連携がとれるようにしている
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時はできるだけ病院に顔を出すようにして情報交換に努めています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	それぞれの利用者について考えられる状態をミーティングなどで話しています 具体的な方針については今後決めていくように努めます		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	それぞれの利用者について考えられる状態をミーティングなどで話しています 医療的な対応は難しいのでかかりつけ医とともに検討しています		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。	今までの接し方や、一日の過ごし方などの詳しい情報を早くから少しずつ送っています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	言葉かけに気をつけています 記録など、他の利用者に見えないように気をつけています		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	出来る限り決めてもらうようにしています		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その人らしい生活をしてもらっていると思います 職員の人数にゆとりを持ち利用者優先にするように心がけています 一人ひとりのペースに合ったすごし方が出来るように心がけています		利用者優先の気持ちを常に忘れずに接していきたい

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	衣類・化粧については本人ができるように支援しているが、理美容は出張サービスを利用しており本人の望む店にはいけていない。カット・カラー・パーマなど本人の希望にあわせての利用は可能です。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	できる方には、献立・準備・片付けなど、声かけし手伝っていただくようにしています。 包丁を使用しなくてもよい、手で行える作業をしていただいています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	全員ではないが対応していますが、体調や病状によりできない場合もあります お酒・タバコについては提供していません 状況により、好みの飲み物を提供しています・		皆さん同じようになっているのでたまには個々の希望に添えたらよい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄のパターンに合った方法を考えています		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一人では入れる方に関してはできるだけ希望に添えるようにしていますが、介助が必要な方については職員の都合に合わせていただいていることも多い。 (本人の希望にあわせて他の方を見守る職員がいない状態では危険なため)		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ご本人の希望に合わせ、その人の状況に応じて休息してもらっています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	その人に合った役割や仕事をお願いしています。 掃除・買い物・洗濯干しやたたみ・ゴミ捨て・体操・歌パズルなどを行っています		楽しみを感じながら生活していただきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人で所持していてもほとんど使っていない。	○	少額でもよいのでお金を所持し買い物に行けたらよいと思います
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	気候の良いとき（花見）や夏は午前中の暑くなりすぎない時間に冬は午後の暖かい時間に、利用者の体調に合わせて散歩に出ています。 食事の材料の買い物に出ています。		御家族と一緒にいった動物園で、生き生きした顔が見られたので、これからは御家族も一緒に出かけられるように計画を立てていきたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	ドライブ・買い物に出ています		もっと楽しめる場所へ行ったり、御家族も一緒にでかけられるように計画したい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話・手紙のやりとりは、できる方については行っています。入居者の私物に何かあった場合こまめに連絡をとっています ご自分の意志でできる方が少ないので難しいです	○	年賀状を送れるとよいと思います
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族や親戚、友人などの訪問客がこられたら笑顔で対応しゆっくり話していただけるようにしています 気軽に訪問していただいていると思います。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	取り組んでいます 自由に歩いてもらえるようにしています		常に意識するように話し合いの機会を増やす。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	利用者の部屋・ユニットの玄関に鍵はありません		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者の様子を把握し安全に生活ができるよう心がけています（日中は30分おきに所在確認し、夜間は巡室） 利用者の見守りを重視し安全確認をしています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組ん でいることも含 む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状態に応じて取り組んでいます できるだけ自由に過ごしていただいている中で危険を防ぐように見守りをしています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修に行くなどして対応している 一人ひとりに合わせて介助を行っています	○	研修などで勉強する機会を増やす
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	佐伯区内のグループホームと共同で救急対応の研修に参加しているが全職員ではない	○	全職員が急変時や事故に対応できるように学ぶ機会をつくる
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	十分にはできていないと思います	○	定期的に訓練をして身につけておきたい 災害時の方法・手順をわかりやすい方法で示す 地域との交流が出来るようになる。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	面会時に家族に起こりうる転倒などについて説明し、行っている工夫について話しをするようにしています		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	職員全員で体調・様子観察。申し送りを行う 体調・状態の変化は記録して、他の職員に口頭で伝えて います。異変を発見した場合は早急に管理者・家族に報 告するようにしています 一人ひとりの毎日の血圧や熱や顔色の確認を行っていま す		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や用法については理解しており、症状の変化に合わせて確認しています 薬に日付を記入し一人ひとり専用で分けて確認しながら出しています わからない場合は調べたり聞いたりしています 薬の変更時は連絡ノートに記入して伝えています		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	水分補給や体を動かすように取り組んでいます。 牛乳や水分補給にて対応していますが、長く続く場合は整腸剤・下剤を使用しています		もっと食事の工夫ができるとよい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後口腔ケアを実施しています。	○	拒否など続く時の対応を考えていきたい
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	料理にはできるだけ野菜を多く取り入れるよう考え、食事量水分摂取量の確認をしています メニューがかたよらないように献立ノートにより気をつけています		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い・消毒を行い清潔に気をつけています 定期的な往診、予防接種などで対応しています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	買いだめせず、毎日買い物をして使い切るようにしています。 片付け後に台所にアルコールや調理器具に漂白剤を使用し除菌しています 掃除をこまめにしています		
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	下駄箱などを利用しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合った壁の飾りをしたり、花を飾ったりしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間で利用者同士ゆったり過ごせるよう席の配置なども工夫しています。 廊下にソファを置き一人ですごしたり職員や利用者同士ではなしができるようにしています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者の要望を聞いて持ってきていただけるものは、ご家族に持ってきていただいています。 出来るだけ本人が使っていたものを使ってもらい、配置にも気をつけています。 ご家族が持ってこられた写真などを飾っています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	利用者に応じて行っています。 掃除の時には窓を開けて換気をしています。 冷暖房の温度調節をしています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要に応じて車椅子・手すりを利用しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ゴミ捨て・掃除・洗濯干し・洗濯たみなどできるところははしていただくようにしています	○	わかりやすい言葉で貼り紙をしたりその方にあった声かけをする
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外に洗濯干し場があり一緒に出たり、畑の作物を見たりしています。		

V サービスの成果に関する項目

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	<input checked="" type="radio"/> ① 毎日ある <input type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input checked="" type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念の基づく運営				
1 理念の共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	本人が身体的・精神的に健康で、状態が落ち着いていられるように、日常生活の管理と会話に気を付けています		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	管理者と職員のミーティングを行っています		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	2ヶ月に1回家族会を行い交流を持ったり、運営推進会議に参加していただいたりしています	○	自治会への参加（地域清掃など）ができればいいのと思います
2 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	散歩などで外出するときは、近所の方やすれ違う方にあいさつを心がけています 畑を近くの保育園に開放し苗植え・草取り・収穫に来るときに様子を見に出たりしています		これからも挨拶を大切にしていきたいと思います
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	老人会や祭りなどに声をかけてもらって、参加できるときは参加しているが時間的に難しいことが多いです 小学生のまち探検 中学校の職場体験をうけています 懇親会にて公民館からボランティア団体を招き交流を深めています	○	町内会に入ることが難しい事や町内会自体の活動が少ないとのことなどから参加がむずかしいことが多いです
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	近所の高齢者の方が訪問できる場所になればいいのという意見は出るが、職員数・業務により難しい状態です	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員の意見を取り入れたり、外部評価の意見を活かせるように努めています		評価の良いところは継続していくように、低いところは改善していくように心がけています
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的な話し合いを行い、職員全体への周知と改善点の検討、方法を話し合っています		
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくるよう努めています		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	資料の回覧などを行っています		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	ミーティングでの指導・話し合いがある 施設内研修		意識的に行動していきたい
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約を結んだり解約する際は、利用者や家族の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図るように心がけています		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	利用者が意見、不満、苦情を言えるように話す機会を持つように心がけています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月1回近況報告の手紙出して、変化があったときには報告の電話しています。また面会時に家族への要望を報告したり、家族からの要望を聞けるように努めています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	なにかあった場合は、連絡ノートへ記入し、管理者へ申し送りしています、その後の意見・改善点の記入も行っています		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者との個別の面接やミーティングにより意見を聞くようにしており、定期的な会議で、職員からの意見を報告しています		各職員の意見や提案を聞いてもらえる機会を作れるよう面接を増やしていく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	病院受診・家族会に対応できるよう職員の勤務を振り替えたりして増員しています		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動してきた職員は自己紹介や挨拶をしてコミュニケーションをとるように努めています 慣れるまでなじみの職員も必ず近くにいるようにしています		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	計画的にマニュアルを使った指導、および外部研修に交代でできるだけ参加するようにしています		新人の外部への研修機会を増やす

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	佐伯区内のグループホームの合同研修会やグループワークのある研修会へ参加することにより他の事業所と交流する機会を作れるようにしています		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の希望する休みが取れるように工夫したり休憩場所の確保を行っています 職員同士の話し合いで解決しようと努力しています		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	勤務状況・実績を考慮し、研修へ参加できるように努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	相談から利用に至るまでに面談を行い、本人がどう受け止めているのか、どうしたいのかを聴くように努めています		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談から利用に至るまでに面談を行い、不安なこと・困っていることについて聴くように心がけています		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の状態を伺って、そのときに必要としている支援について（医療・在宅・他のホームを含めて）ご家族が検討できるように情報の提供に心がけています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	必要であれば、何度か本人・家族に立ち寄ってもらい一緒に過ごしてもらおうなどしています		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との会話を大切にし、利用者がどんな方なのか理解し、また自分を理解していただけるよう努めています 同じテーブルで食事をともにしたり、利用者の好むテレビ番組等を一緒に視聴しています 同じ時間を過ごすようにしています		意志の疎通が難しい方に対して信頼関係を築けるように努力しています
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人の希望を伝えたり、接し方についてアドバイス等しています 家族による通院・散歩をされる場合もあります 来所時、様子など変わったことがあると伝えるようにしています	○	女性の利用者が多いので、おやつを作ったりしてみたい
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	家族が見ていない時の利用者の言動、行動など気付いたことを報告するようにしています 家族の想いや家族の長所などを本人との会話に取り入れています		家族の方々とは会う機会も少なく話しにくいと感じることもあるので、積極的に家族と利用者との間に入りたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の了承を得て友人などの訪問も歓迎しています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士が、口論になったときは間に入っています 合う合わないがあるので席の配置を工夫しています 同じ机の利用者同士でよく会話しています		利用者同士の関係をもっと円滑になるように努めたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	出会ったときの挨拶や声かけをしています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者とはゆっくり話しをする時間をもち、希望や気持ちを聞くようにしているが、すべての方については把握できていないと思います 居室や食堂など過ごしたい場所で過ごしていただき強制はしないようにしています 洗濯など希望する方には自分でしてもらっています		一人一人と話をする機会をつくり本人の考えを聞いていきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	時間のある時に記録を見えています		情報などを見ることはあるが覚えきれないので、少しずつでも頭に入れるようにしたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日の生活の仕方などは記録や申し送りなどで把握するようにしています 疑問や変化について職員同士で話し合うように努めています		今以上、一人一人の力量の把握に努めたい
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ミーティングやご家族本人と話しをして、作成するように努めています		家族の意見をもっと取り入れていきたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	申し送りや連絡ノートを活用し、変化があったときにはその都度家族へ電話などで連絡・相談して、現状に即した介護を行っています		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	一日の生活状況を記録しています、特変があれば、赤線で目に付きやすくしています 連絡帳を活用し、情報を共有して計画の見直しに活かしています		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	併設のデイサービスに立ち寄ったり、デイの車を利用して買い物・ドライブにでかけています		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察・消防の立ち寄り、家族会でのボランティアさんとの交流、小学校の見学・中学校の職場体験の受け入れなどで協力しながら行っています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	必要に応じて他のケアマネや他の事業所の人と話をしています		介護保険上、他のサービスは併用利用できず、介護保険外のサービス利用には対応できない現状です
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて相談しています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	定期的な受診・往診を行っています 職員が家族と一緒に受診しています		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医の受診・往診を定期的に受けています 本人の様子を報告し助言や指示を得ています 必要があれば新規の受診も勧めています	○	定期的な脳のCT・MRIが実施できるとよいと思う
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診診療所の看護師・併設のデイサービス・有料老人ホームの看護師に相談し助言を受けています		
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療相談室の相談員・担当病棟の看護師と連携をとるよう努めています 受診時に、入院が必要かどうかなど相談することも多い		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	それぞれの利用者について考えられる状態をミーティングなどで話しています 重度化した場合については、御家族・かかりつけ医などとの話し合いを行います		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	それぞれの利用者について考えられる状態をミーティングなどで話しています 医療的な対応は難しいのでかかりつけ医とともに検討し、状態に合わせて住み替えていく方向で検討することもあります	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	今までの接し方や、一日の過ごし方などの詳しい情報を早くから少しずつ送っています		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	記録などは目に触れないようにしています 本人に関する情報など聞こえないように配慮して話しています 親しみを込めた言葉かけや対応をするように心がけています 話しかけられたらちゃんと聞いて言葉をかけるように心がけています		もう少しゆとりを持って接したい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	職員に頼りきらないように利用者の力でできることはしてもらっているが、意志の疎通が難しい方はそうはいかないこともあります 言葉で説明が難しい場合は、紙に書くようにしています 一方的に押しつけないように心がけています		利用者の行動意欲を損なわないように努めたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活のため難しいことも多いが、できるだけ希望に沿うように心がけています 散歩や買い物に同行するときもあります 利用者が自分が思うように普通の生活を行えるよう心がけています		もう少し一緒に買い物などに出かけたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	化粧や理美容など本人の希望を聞いて行っていますが、本人の望む店には行っていない 更衣の時になるべく本人の希望する物を選ぶように心がけています 本人の希望でカタログ注文をすることもあります		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備・片づけはほとんど職員が行っています 準備はいやがる方も多いため、メニューについて話し楽しんでもらっています 一人ひとりの好みを把握できるように、できるだけ食べたい物を聞いて作るようにしています		一緒に楽しく調理をしたり片づけをしたい 誕生日に本人の希望するメニューにする
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	おやつなどは個人に合わせるのではなく、平均的にみんなが好きなものを出すようにしています 飲み物など、自分でおかわりをされる事もあります 一人ひとりの好みの物は出せていないこともあります 何が食べたいのかを聞いたり、好きな物嫌いな物を聞いています		誰か一人の好みに合わせず、みんなで楽しめる物を出したい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人に合わせて声をかけ・トイレに誘導し介助を行っています 羞恥心が強くトイレに同行できない方にはトイレ後の見守り、必要に応じて更衣を行うようにしています 夜間もなるべくトイレ誘導し、衣類寝具を汚さないように(失敗体験をしないように)気をつけています		トイレで排泄ができるよう心がけている 本人・御家族が不快に思われる取られ方をすることもあり、声をかける際には気をつけている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴の回数や時間帯をある程度決めて入ってもらっているが、できるだけ本人の希望に沿った時間に入浴してもらえるよう心がけています 入浴の声かけをしてできるだけ希望に合わせてもらえるよう努めています		入りたいときにはいれるように、毎日入浴できる人には入浴できるようにしたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	体調の悪いときや眠気を感じようとしている方にはベッドで休息していただいています 居室の温度設定に配慮したり、シーツ交換を行い気持ちよく眠れるように心がけています		昼夜逆転しないようにメリハリをつけていきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	美空ひばりのビデオや相撲を見たり、体操や歌を歌ったりして気晴らしをするようにしています 洗濯をたたむ、散歩・ドライブをする、誕生日会やその他の行事で気分転換を図るようにしています 何もないときは、椅子に座って過ごしていることがあります 掃除を誘うがいやがる方が多いので、せめてごみを捨てにいくように心がけています		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を使うことはほとんどないが、小銭程度を所持し、スーパーなどと同行し、お金を使える場面を作っています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩に出たりしているが、その日の希望にそっては難しいこともあります 外出時は本人の状態に合わせて手押し車や車椅子を活用しています 戸外に出る希望は少ないが、できるだけ出かける機会をつくようにしています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	会社の車で弁当を持ってドライブに行ったり、食事、お茶をしに出かけてる時もあります 家族の方と出かけられる方もいるので、手荷物の準備を行います		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者が電話をかけたい時にはかけられるよう支援しています 手紙をポストへ投函するなど、なるべく本人の意見に応じて行うように努めています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	居室でゆっくり過ごしてもらえるようお茶や椅子を出しています 家族に気軽に訪問していただいていると思う 職員は笑顔を忘れず気持ちよい挨拶を行っています		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	関係資料の回覧により理解に努め、身体拘束をしないようなケアに取り組んでいます		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	利用者の居室・ユニット間に鍵はついていません 居室から出るときに歩行不安定な方、徘徊のある方については居室のドアに鈴をつけて職員がすぐにわかるようにしています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	定期的な所在確認や居室への訪問を行っています 利用者一人ひとりがどこにいるのかを常に把握できるように心がけています		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	怪我のおそれのある物・誤嚥の危険性のある物は利用者の周囲に置かないようにしています はさみ・爪切りは本人の能力に合わせて自分での管理を任せている方もいます		何が起こるかわからないため利用者の様子は常に把握するように心がけたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	投薬は、名前と日付を朝昼夜チェックしています 一人一人の危険性について頭に入れて気をつけています 救急の講習に行くなどしています	○	事故が起きても即対応ができるように学習したい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	グループホームの合同研修に参加するなどにより、できるようにしていきます		定期的におこなえるようにしていきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回の防災訓練を行っています		夜間の訓練が出来るとうよいと思います
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	転倒・持病の状態について、来所時、月々の便りによって本人の様子を説明しています		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	トイレ誘導の時、なるべく身体に触れるようにして体温の変化を感じるようにしています 毎日、定時の体温・血圧測定を行い、体調の変化がある場合は測定回数を増やしています 口頭や記録で申し送りを行い、職員同士情報を共有し、必要に応じて、看護師・担当医・管理者に報告している		体調が悪化した際、どの職員でも対応できるようにしている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	毎回の薬の手渡し、服薬の見守りを行っています 薬の確認・用法・用量の確認を行い、変化があれば、記録・口頭にて申し送りをしています		薬の内容、副作用など勉強しています
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	排便周期の管理を行い、便秘防止の為に果物・野菜・繊維質のあるもの・乳製品をとるなど気をつけています 水分をしっかり取るようにして、体操や歩行練習も促しています それでも難しい場合はかかりつけ医に相談することもあります		もう少し運動を取組んでいきたい

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後全員の口腔ケアの確認をしています 本人が磨ききれない方は手伝います		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量・水分摂取量の確認を行い摂取量の少ない方へは回数をおまわって飲んでもらうなどの対応も行っていきます 食事を刻む、とろみをつけるなどで対応している方もいます		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	勤務前の手洗い、うがいを実施し気をつけています インフルエンザの予防接種(入居者・職員)・食品の扱いに注意しています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所は清潔にし、食材の買い置きはせず賞味期限は必ず守っています。 調理器具の毎日の塩素系漂白剤での消毒を行っています		一部の調理器具は消毒できていない物もあるのでできるように努めたい
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関の飾りをしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔に努めています 毎月のカレンダーに季節の絵を描いて、季節を感じてもらうようにしています		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	昼のスペースがあるが、段差がありあまり活用できていない 食堂の机で気の合う型同士が会話をしたり、隣のユニットへ遊びに行ったりしています		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家族と相談し、今まで使っていた家具や身の周りの物を持ってきていただいています 毎日の清掃により、気持ちよく過ごしていただけるように配慮しています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度計・湿度計を設置し、エアコンの温度調節をしています 天気の良い日は、天窓や窓をあけて換気しています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下や脱衣場・トイレに手すりを設置しています 段差や邪魔になる家具がないように気をつけています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	部屋の名前やトイレの識別など混乱のある方についてはわかるようにしています できることは見守るように気をつけています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外を散歩したり、敷地内で畑の作物を見たりしています ベランダの段差があり出られる方は2名		ベランダでの排尿もあり注意が必要です

V サービスの成果に関する項目

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	<input type="radio"/> ① 毎日ある <input checked="" type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目